

## 山階小学校の歴史アルバム

1	1896	明治 29	校門・ガス燈	35	1937	昭和 12	運動会
2	1895	明治 28	三階建て講堂	36	1937	昭和 12	校下一周リレー
3	1918	大正 7	三階建て講堂	37	1948	昭和 23	運動会
4	1924	大正 13	三階建て講堂	38	1972	昭和 47	百周年記念
5	1929	昭和 4	校門	39	1934	昭和 9	西御坊
6	1932	昭和 7	校門	40	1935	昭和 10	鐘紡上空
7	1932	昭和 7	校門(入学式後)	41	1935	昭和 10	山階校運動場上空
8	1936	昭和 11	校門(大雪)	42	1942	昭和 17	蓮如上人銅像
9	1937	昭和 12	校門	43	1944頃	昭和 19頃	トップセンター
10	1968	昭和 43	校門(校門移設後)	44	1944頃	昭和 19頃	農耕に牛
11	1972	昭和 47	校門	45	1955頃	昭和 30頃	四ノ宮川の橋
12	1930頃	昭和 5頃	講堂(二代目)	46	1956	昭和 31	山科映画劇場
13	1932	昭和 7	講堂(二代目)	47	1956	昭和 31	竹鼻街道交差地点
14	1961	昭和 36	体育館(三代目)	48	1958	昭和 33	蓮如上人御廟所
15	1994	平成 2	現体育館	49	1958	昭和 33	元山科村役場
16	1923	大正 12	北校舎(初代)	50	1958	昭和 33	滋賀銀行山科支店
17	1926	大正 15	北校舎(二代目)	51	1958	昭和 33	山科警察署
18	1934	昭和 9	北校舎(二代目)	52	1958	昭和 33	山科保健所
19	1937	昭和 12	鉄筋三階建て北校舎	53	1958	昭和 33	東御坊の橋上より
20	1934	昭和 9	西校舎(初代)	54	1958	昭和 33	地蔵盆
21	1937	昭和 12	西校舎(二代目)	55	1959頃	昭和 34頃	吉村紡績工場
22	1932	昭和 7	南校舎 入学式	56	1964	昭和 39	衛生掃除
23	1933	昭和 8	南校舎 運動会				
24	1966	昭和 41	中校舎				
25	1969	昭和 34	本館				
26	1972	昭和 47	本館				
27	1980	昭和 55	プレハブ建物				
28	1934	昭和 9	校庭ラジオ				
29	1935	昭和 10	牛尾登山				
30	1942	昭和 17	国民学校授業風景				
31	1960頃	昭和 35頃	山階校上空				
32	1933	昭和 8	運動会				
33	1933頃	昭和 8頃	運動会				
34	1934	昭和 9	女子ドッジボール				

このアルバムは、創立 135 周年を記念して地域の先輩であり郷土歴史家の土山年雄氏が山階小学校のうつりかわりをまとめてくださったものです。



1 1896 (明治 29 年 3 月) 山階高等小学校 4 年生 卒業写真

この校門は残っていますね。

校門と校門の上に、アーチ型の鉄材が渡され、その中央に「ガス燈」がありますね。

左側の校門の奥には、三階建の講堂があります。

右側の校門の奥には、山科村の村役場が見えています。



2 1895 (明治 28 年 3 月) 山階尋常小学校 4 年生 卒業写真

山階校で一番古い写真です。

三階建講堂の正面で写しています。



3 1918 (大正 7 年 3 月) 山階尋常高等小学校 卒業写真 (尋常科 6 年生・高等科 2 年生)  
三階建講堂 屋根のある所が正面です



4 1924 (大正 13 年 3 月) 山階尋常高等小学校卒業写真 (尋常科 6 年生 高等科 2 年生)  
三階建て講堂の左面で写しています。



## 5 1929（昭和4年3月）山階尋常高等小学校 校門

昭和27年までの校門は、現在地より北にありました。  
現在の山階消防分団の詰所の前に建っていました。  
石組みは「くづれ積み」といって、明治13年のままです。  
明治29年の写真に写っている「ガス燈の装飾ぼんぼり」が  
取れており、はだかのガス燈が写っています。



6 1932(昭和7年) 山階尋常小学校 校門

現在の給食調理室より西にかけて、平屋建ての教室が3つありました。

この校門があった場所、現在の山階消防分団の前の石組みを見比べて  
見てください。同じであればその証拠になるわけです。

ガス燈の装飾が丸型のガラスに変わっています。



7 1932(昭和7年4月1日) 山階尋常高等小学校 校門前 入学式がすんだ後です。



8 1936(昭和11年2月) 山階尋常高等小学校 校門付近  
大雪で約30cm積もりました。



9 1937(昭和12年12月) 山階尋常高等小学校 校門前 旗行列  
北から南にかけて撮影したものです。



10 1968(昭和43年3月) 山階小学校 校門 この校門は明治13年のものです。  
校門は、昭和28年、現在地に移転しました。



11 1972(昭和47年) 山階小学校 校門  
二代目校門で昭和44年に竣工しました。  
この校門は昭和54年2月まで使用されていました。



12 1930頃〔昭和5年頃〕 講堂〔二代目〕 西から東を写したものです。

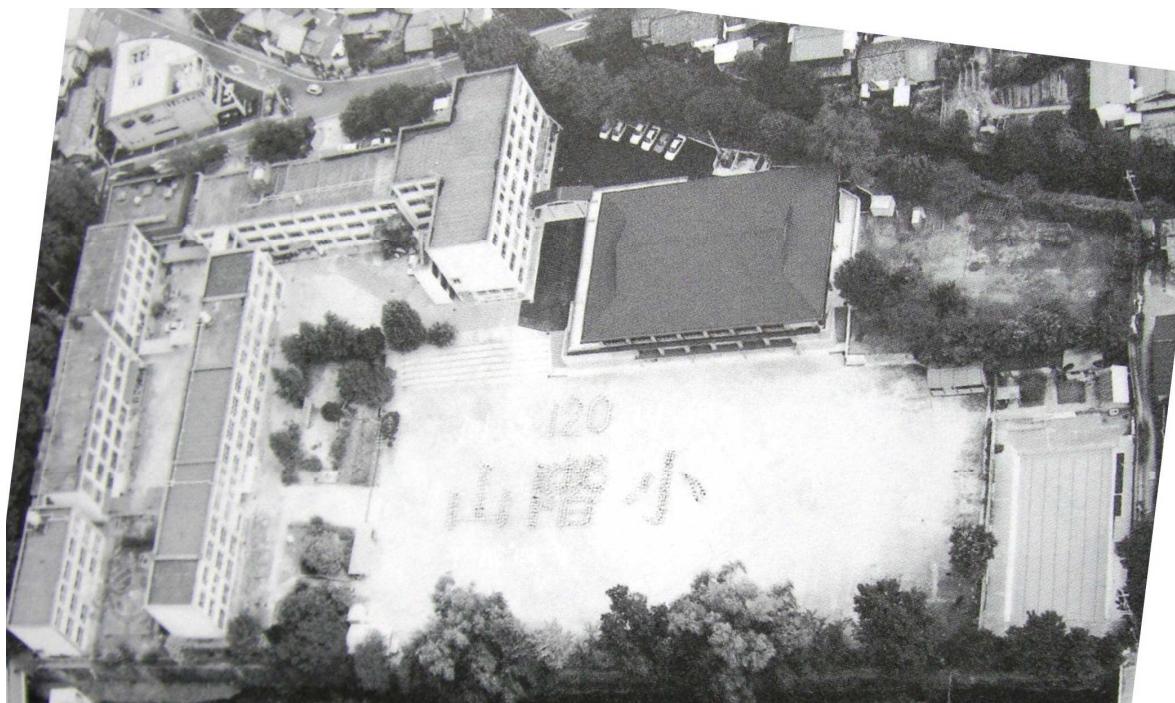
昭和9年9月21日の第一次室戸台風（当時はラジオ放送で大風と呼ばれていました）がきたときは、この講堂に全員避難しました。午前12時頃、風も弱まってきたので、家に被害がなかったものかと心配しながら家路を急ぎました。途中、わらぶきの家のわらが少し飛んでいました。家では、二階のガラス戸が飛んでしまっていました。



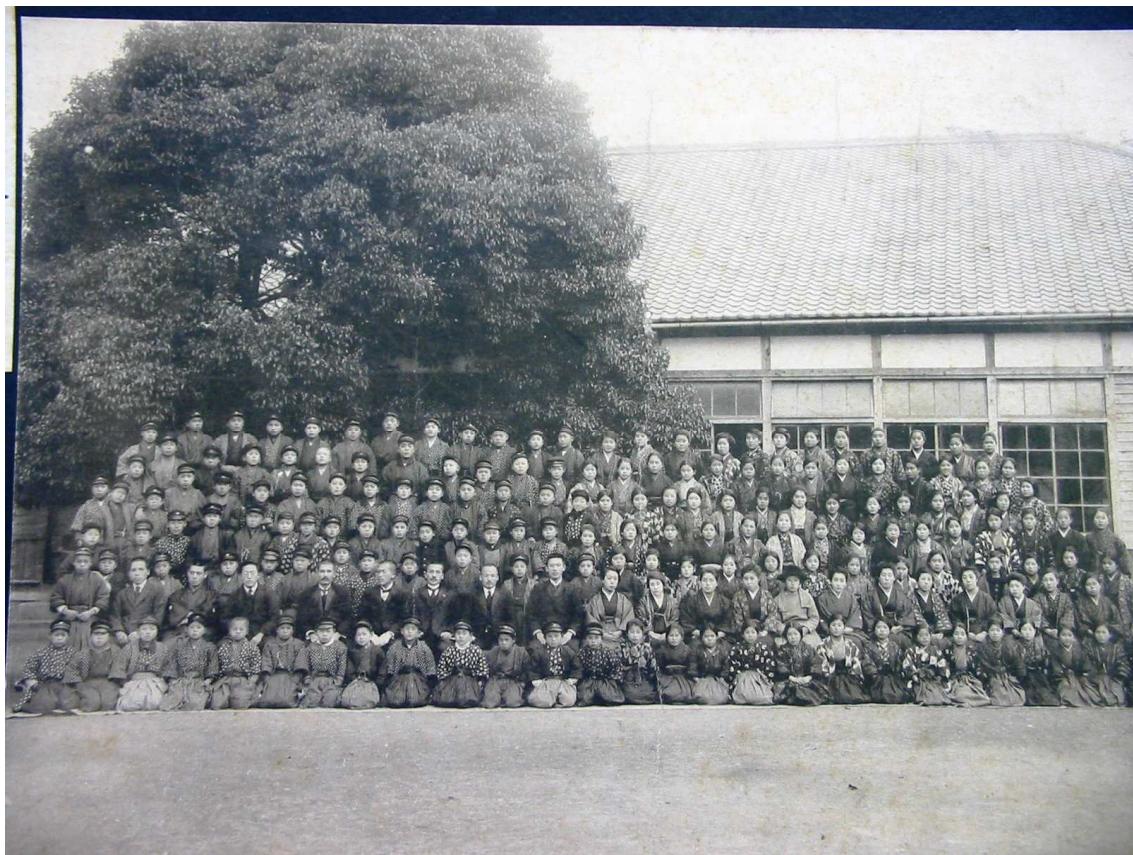
13 1932(昭和7年1月1日) 二代目の北校舎(左)と二代目の講堂(右)  
三階建て講堂に代わり、大正11年竣工した二代目の講堂、  
ここでは、国旗掲揚台の落成式が行われています。



14 1961(昭和36年) 体育館(三代目講堂) 昭和36年5月竣工  
二代目講堂(雨天体操場 兼 講堂)の代わりに新設されたものです。

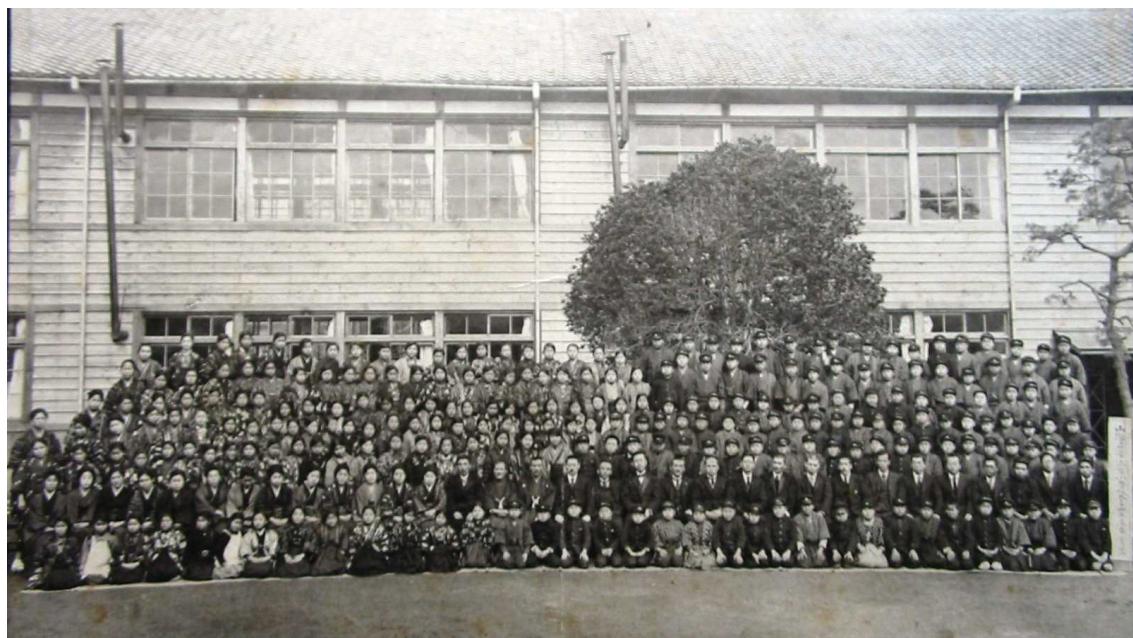


15 1994〔平成2年〕 創立120周年記念の全景 中央の黒い建物が現体育館です。  
体育館は講堂をも兼ねているので、講堂としては四代目になります。  
平成3年埋蔵文化財の発掘調査により、地下より「山科本願寺土塁  
跡の基底部」が出土しました。



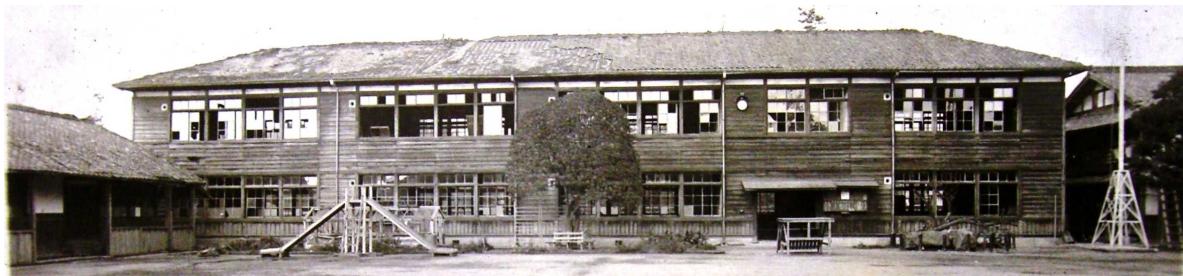
16 1923(大正12年3月) 北校舎 平屋建てで、明治32年頃の建物と思われます。

この大きな楠は、後年、北校舎鉄筋三階建て建設工事のとき  
伐採されました。



17 1926(大正15年3月) 二代目の北校舎

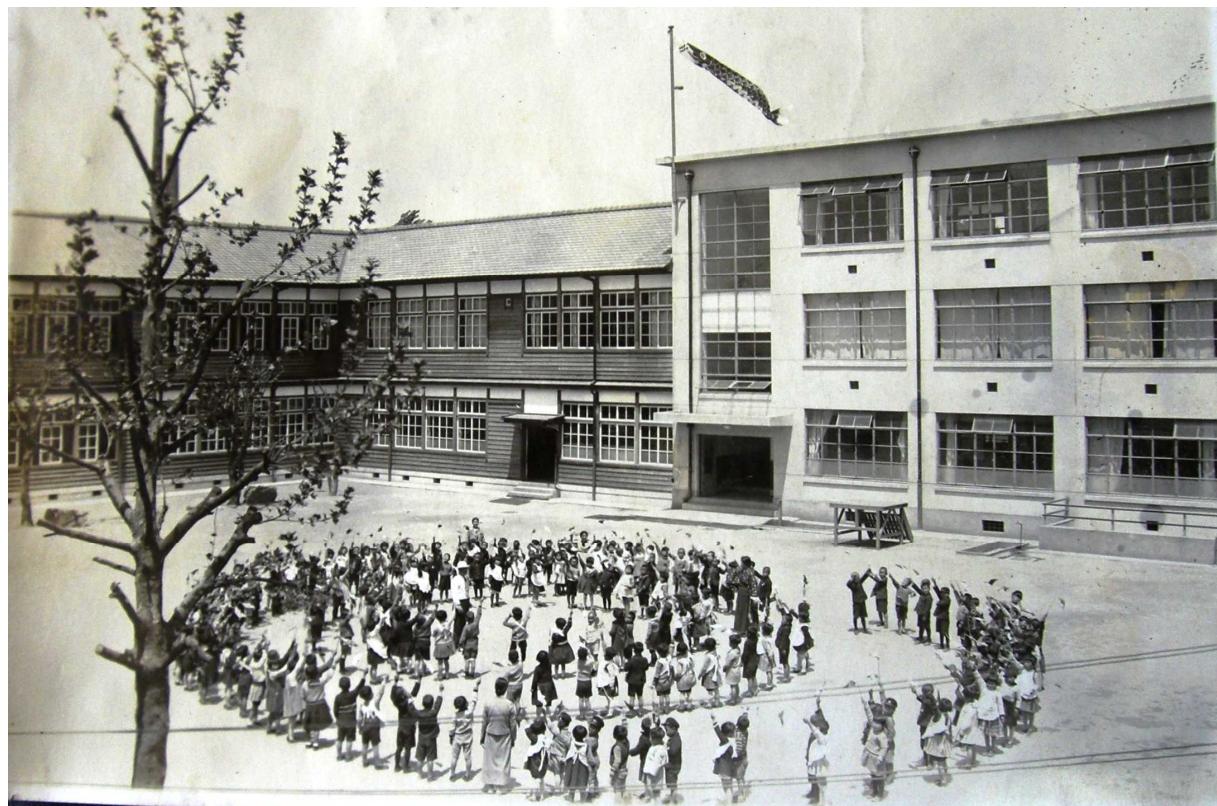
大正14年10月改築されたものです。  
平屋建てから二階建てになりました。



18 1934(昭和9) 北校舎(二代目)

この校舎は昭和9年9月21日の第一次室戸台風で被害を受けたので  
使用不能となり、建物がとりこわされました。

昭和11年、鉄筋三階建て校舎がこの跡地に建ちました。



19 1937(昭和12.5.5)(右) 北校舎(三代目) 鉄筋三階建て

(中央) 北校舎に継続する校舎(木造二階建て)

(左) 西校舎(二代目) 木造二階建て

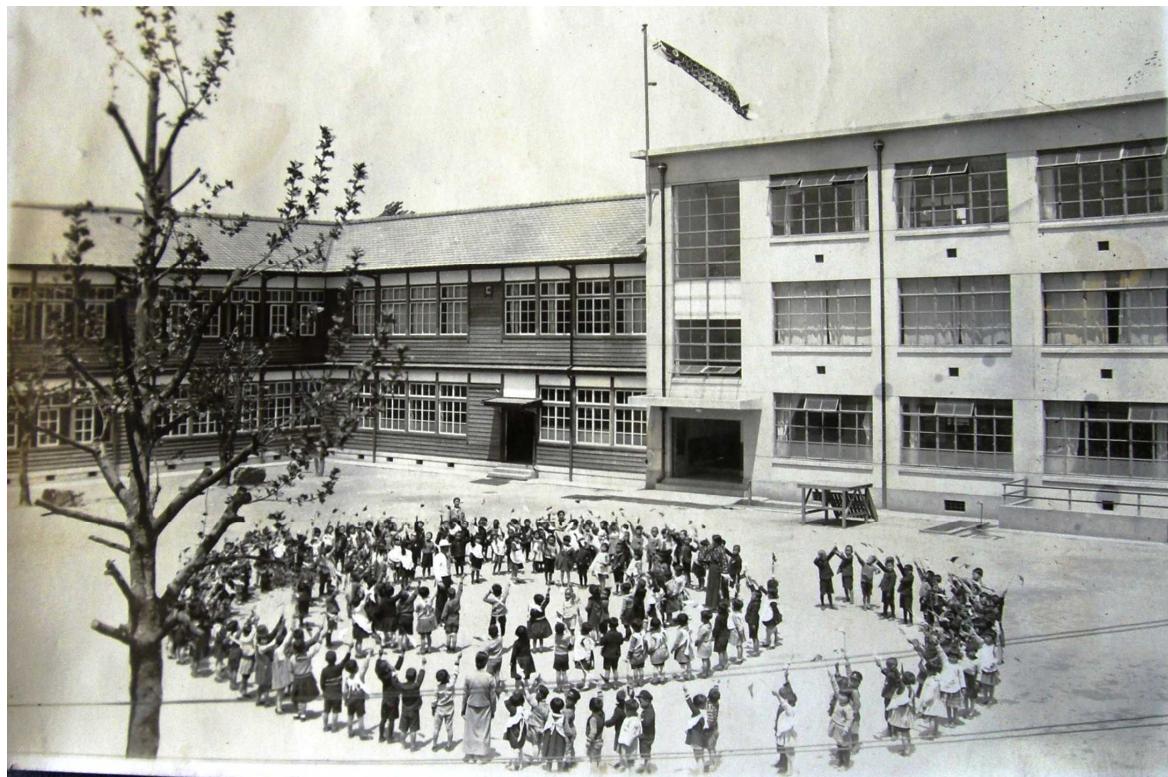
5月の節句を祝う集いの行事が行なわれています。

鉄筋三階建ての北校舎は、現在も残っています。

3階には、郷土資料室があります。



20 1934(昭和9年) 西校舎 明治18年に新設された西校舎です。  
1年生の教室によく使われていました。  
この校舎も、昭和9年9月21日の第一次室戸台風で被害を受け  
たため、使用できなくなりました。  
昭和11年11月26日 木造二階建ての校舎に改築されました。



21 1937(昭和12.5.5) 左の建物が、二代目西校舎



22 1932(昭和7.4.1)(左) 南校舎(北から南を写しています) 入学式  
(右) 西校舎  
写真は北校舎の2階から撮ったものです。  
山階校に残っている最初の入学式を撮った写真で、貴重のものです。

5クラス(梅組、桃組、桜組、藤組、松組)の新入学生約250人と  
服部校長、後方に入学式を見守ってきた父母、その後方に南校舎と  
西校舎が写っています。  
中央のコンクリートブロックは、下の運動場へ行く地下道です。

入学生は全員、日の丸の旗を持っており、女子はエプロン姿が目立ちます。当時エプロン姿は晴れの日の正装として時代の流行だったようです。



23 1933(昭和8) 南校舎(南から北を写しています) 運動会

この写真で見る南校舎は、コンクリート石の土台の上に建っています。

前ページの南校舎(北から南を写しています)は、コンクリート石の土台は見えません。

この写真には、左右にそれぞれ1箇所のトンネル口が見えます。

下の運動場から上の運動場の周囲にある南校舎、北校舎、西校舎、講堂へ行くのにこのトンネル口が利用されています。

この土地段差が、今から500年あまり以前、蓮如上人建立の山科本願寺土墨跡と考えられています。

現在はここにスロープがあります。



24 1966(昭和41.2) 中校舎 降雪の運動場

児童数激増のため、昭和38年頃、木造の南校舎をとりこわして

昭和41年1月、その北側に鉄筋三階建ての中校舎を新設しました。

スロープになっている場所の上に南校舎が建っていました。

南校舎の東端と西端に、上から下の運動場に通じる地下道がありました。

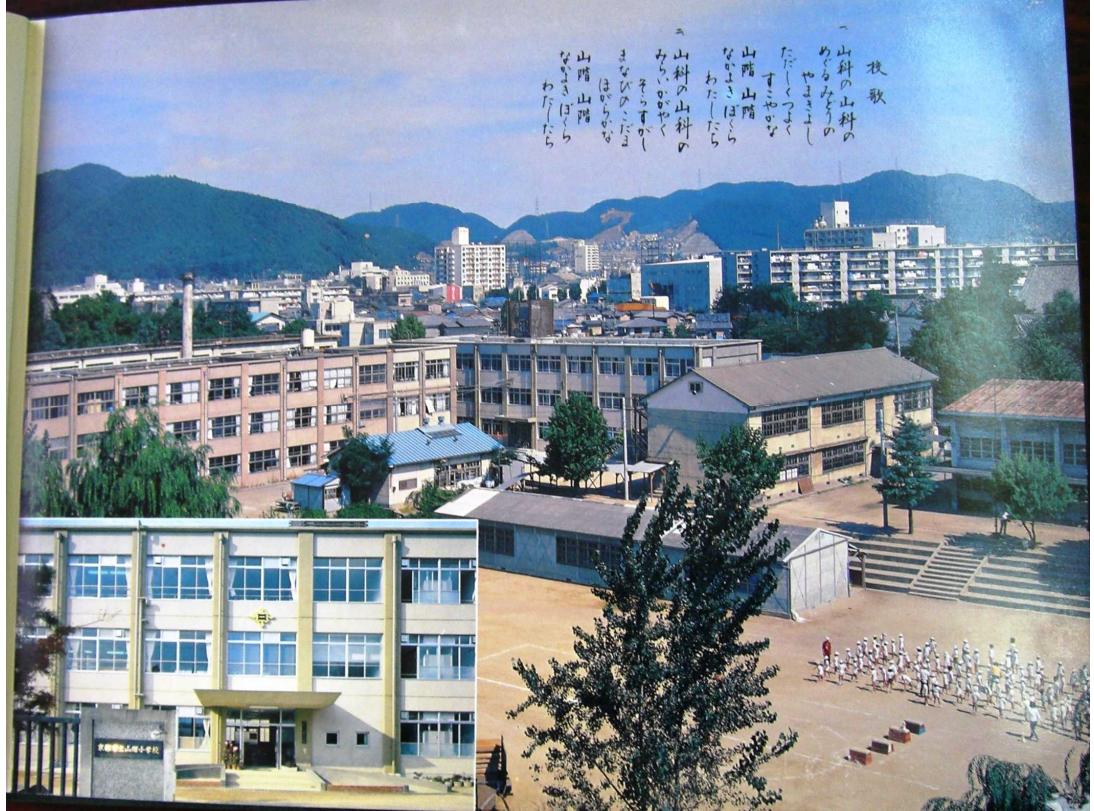


25 1969(昭和34.3) 本館

昭和29年新設



26 1972(昭和47.3) 本館(二代目)



27 1980(昭和55年) 山階小学校全景 本館(左下に再掲)

中央にある本館を左下に、東から再写してあります。この本館は三代目になります。

運動場の北東部に「プレハブの建物」が見えます。

これは山科団地の建設等により児童数が激増したため、昭和51年、従来の木造校舎であった本館をとり壊して新校舎建設に取り組んだその名残りです。



28 1934(昭和9.6)

南校舎職員室前の校庭にて

夏の暑い間、毎日このようにしてラジオ放送を聴いていました。



29 1935(昭和10.6.19) 牛尾登山 音羽から小山にかけて  
山階校から牛尾山法嚴寺を経て音羽山頂上まで  
4年生以上が毎年このようにして牛尾登山をしていました。



30 1942(昭和17) 山階国民学校の授業風景  
昭和16年4月から、今までの尋常高等小学校が  
山階国民学校に校名が変わりました。



3 1 1960頃（昭和35頃）以前 山階小学校の上空写真

昭和35年11月25日より体育館建設工事がはじまり

昭和36年5月25日竣工しました。

校庭には全校児童が整列しています。



3 2 1933（昭和8） 運動会

運動場南の林の向こうに、現在は五条通や新幹線が通っています。

今の運動場と見くらべてください。



3 3 1933 頃 (昭和 8 頃)

運動会

左は南校舎です。

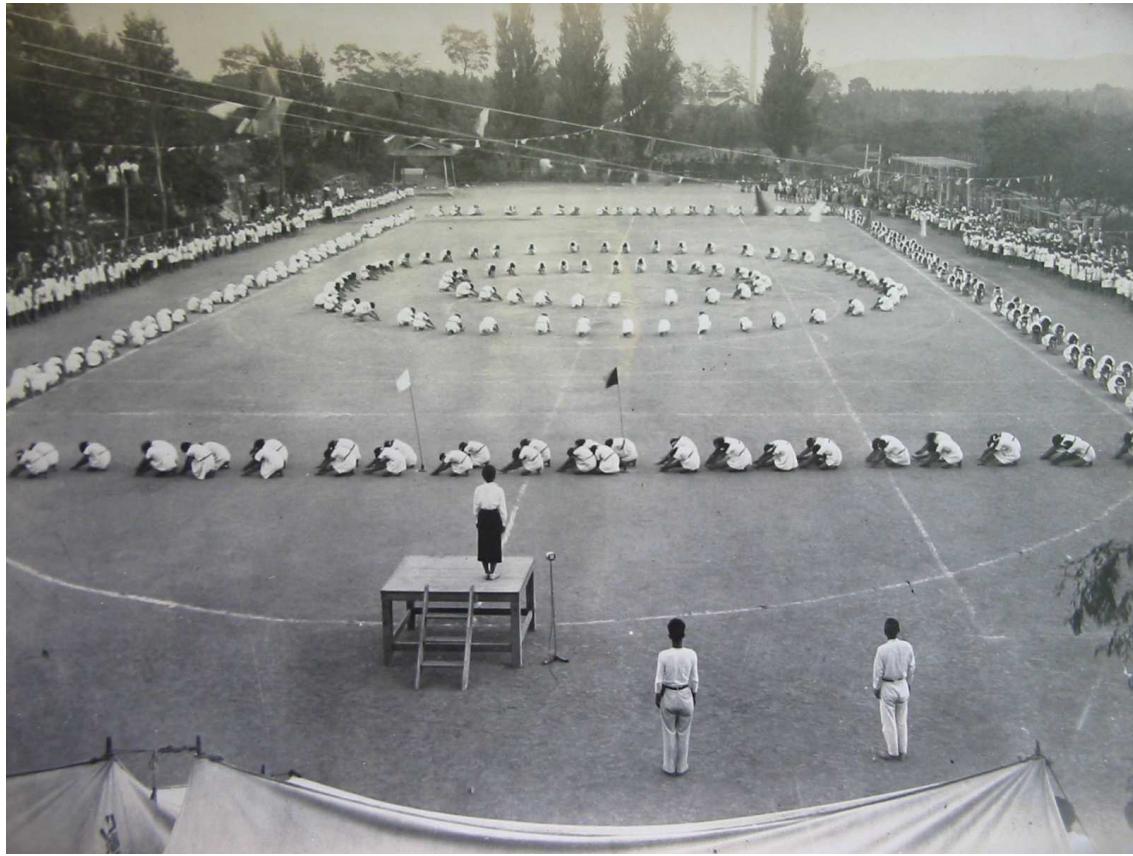


3 4 1934 (昭和 9.9.28)

女子ドッヂボール大会

試合開始前のあいさつを交わしているところです。

後方に見えている土手は、今から 500 年あまり昔に存在した  
山科本願寺土塁跡の姿をしています。



35 1937頃（昭和12頃）

### 運動会

この写真は運動場の全景を写しています。

現在とよく見くらべてください。

このときは、直線で100mの走りができました。



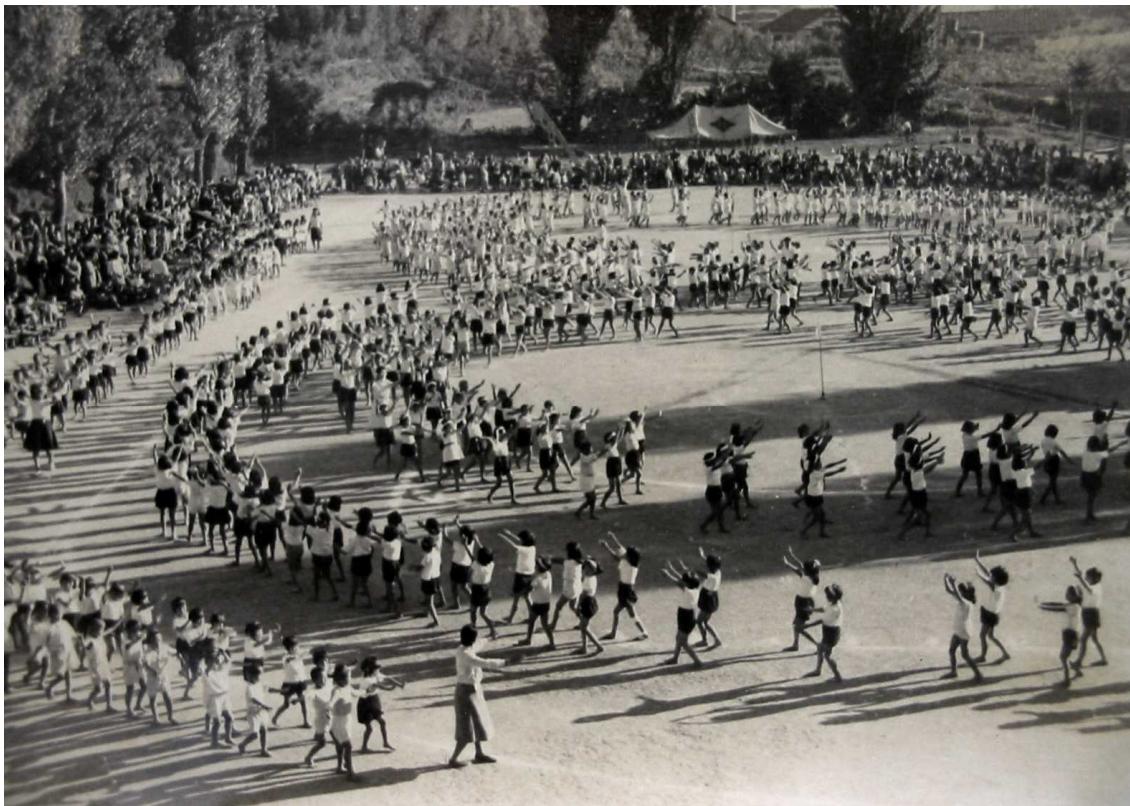
36 1937（昭和12.11.1）

### 校下一周リレー 三条通

毎年この日に、校下一周リレーが行なわれました。

ここは三条通で、竹薮が見えている所は現在大丸山科店付近です。

西に見えている山は東山連峰です。



37 1948(昭和23) 山階小学校の運動会

昭和22年4月から、今までの国民学校から山階小学校と名前が変わりました。  
同時に、山科中学校が誕生して、2年間、山階小学校と一緒にしました。



38 1972(昭和47) 山階校創立100周年記念式の日

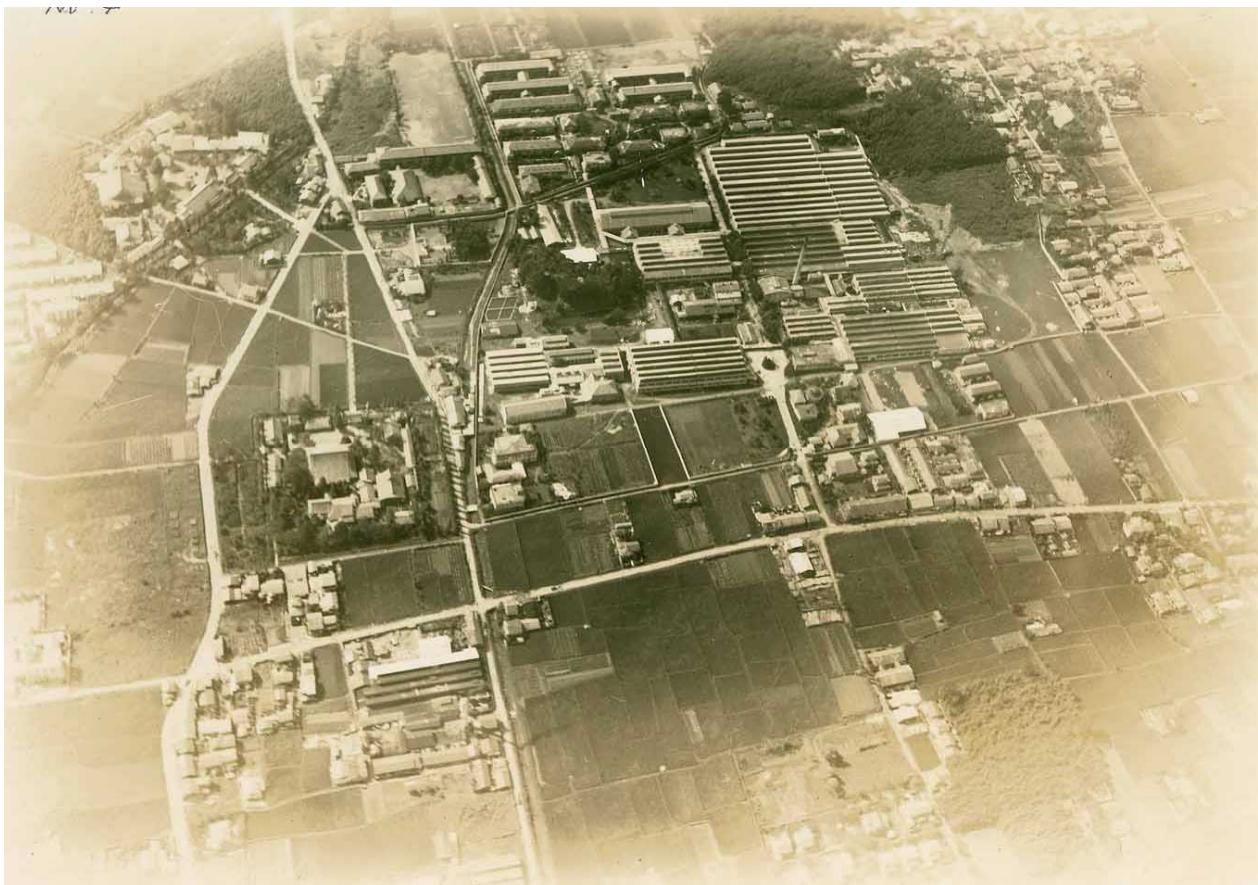
今の体育館の前の体育館です。土手のところが写真のような  
観覧席になっています。



39 1934(昭和9) 西本願寺山科別院にて 3年梅組の進級記念写真

左が本堂 右が中宗堂

- 1732 京都の北山別院の旧堂を移して建立。(舞楽寺といいます)
- 1772 現在の本堂に再建
- 1782 鐘楼, 太鼓楼, 接待所等を増築
- 1832 中宗堂を建立(蓮如上人ご自作の像を安置)
- 1872 明治 5.5.6 対面所を教室にして, 東野校が開校
- 1880 明治 13.4.16 東野校, 西野大手先町の山階校に移転



40 1935(昭和10) 渋谷街道上空より南方を写したものです。

山階校は上部の左からすこし少し右に全景が写っています。

山階校のすぐ左の建物群は鐘紡女子寄宿舎3棟です。

現在は山科南団地に変わっています。

その手前一帯にある工場建物が鐘紡山科工場です。

1921 大正10.8 鐘紡の子会社 日本絹布がこの大工場を造り、

1922 大正11.6 鐘紡が日本絹布を吸収して、鐘紡山科工場となりました。

欧米より技術者を招き、外人宿舎や外人専用の社交クラブまであり、

電気・ガス・上水道を引き、当時の最先端の技術設備を備えていました。

一方、福祉面でも女子工員のために、女学校、診療所、400m競走が

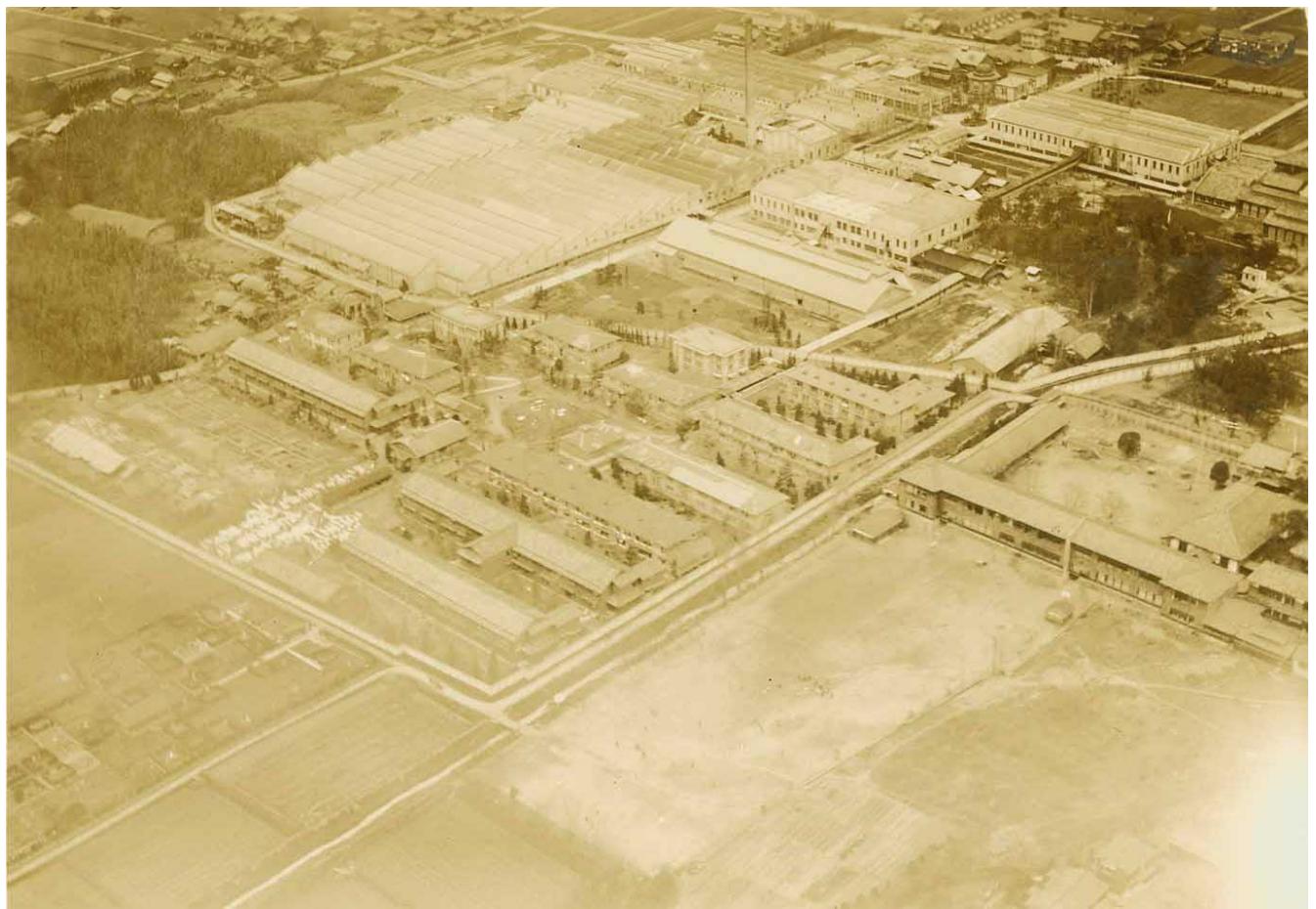
できる運動場、大食堂等々が1万坪の敷地内にあり、また、理化学

研究所も設置っていました。

1970 昭和45.1.20 公害対策上、長浜工場へ移転し山科工場を閉鎖しました。

1970 跡地は、広大な敷地を利用して、公共施設（山科中央公園、東部土木事務所、安祥寺中学校、山科消防所、山科郵便局の順）や市営住宅、山科団地が立ち並び、一大文化圏を構成するに至りました。

しかし、その一方で、山階小学校の児童数増加が激増し、急遽、分校設立に向けてその対策が迫られることになりました。



41 1935(昭和10) 東野北部上空から南東を写したものです。

山階校は下部の右から中央にかけて写っています。

南校舎・西校舎・北校舎・講堂・上の運動場・下の運動場と、

石垣に囲まれた鐘紡山科工場がよく写っています。

また、山階校のすぐ右の森が蓮如上人御廟所で、

その上部の森が現在の山科中央公園です。

今から500年あまり昔に、蓮如上人が建てた山科本願寺とその寺内町の  
北部約40%を鐘紡山科工場が占めていました。



42 1942(昭和17) 蓮如上人銅像 西野大手先町

1934 昭和9.12.7 銅像建立。除幕法要。

1944 昭和19.2.22 国へ銅供出のため、訣別法要。

この写真は、浄土真宗門徒の親類の手により撮影されたものです。



43 1944頃（昭和19頃） 音羽野田町 通称ゴルフ道にて

この道は通称ゴルフ道と呼ばれ、三条街道（現、三条北通）から南へ向かいゴルフ場までの道をいいます。

写真の幼き姉弟のいる所は、トップセンターの少し南です。

なお、ゴルフ場は大正14年1月、東野井ノ上町に、京都カントリー倶楽部経営のゴルフ場を設立し、昭和8～9年頃、当時としては立派なゴルフ道を造成しました。



44 1944頃（昭和19頃） 牛を使って農耕作業 音羽野田町

前のページと同じ場所から東方向に写した写真です。 山科の原風景です。



45 1955頃(昭和30頃)竹鼻堂ノ前町 通称ゴルフ道 四ノ宮川の橋の上  
山科の原風景です。  
この場所は、外環状線の渋谷街道の交差点を 東に一筋行った所です。 四  
ノ宮川に架かっている筋違橋のたもとです。



#### 4 6

1956(昭和 31.12.14)竹鼻竹ノ街道町 三条通 山科映画劇場前にて義士祭りの一行  
昭和 31 年 11 月 19 日 東海道本線電化を祝って、義士祭りの一行が山科映画劇場の前  
で休息をとっているところです。

昭和 2 年 竹鼻の山科京極中程を少し西へ行った所に、山科映画館開館。

昭和 9 年 京津国道(現、三条通)開通を契機に、三条通で外環状道路の一筋西の  
南側に移転し「山科映画劇場」と改称。

昭和 50 年頃 この建物から「山科映画劇場」の看板を撤去。

代わりに「太閣」という一杯飲み屋がこの建物を利用し営業  
平成に入って、建物が解体され、現在は貸切駐車場になっています。



47 1956(昭和31.12.14) 竹鼻竹ノ街道町(三条通と竹鼻街道の角) 義士祭り一行

左の建物は理髪店で、全国中等学校野球大会の実況放送をラジオで聞くのが楽しみでした。また、店では試合の点数表が貼ってありました。



48 1958 (昭和33.11.27) 西野大手先町 蓮如上人御廟所

1499 本願寺第八代門主 蓮如上人が山科で亡くなれた後、  
だひに付されたこの場所が御廟所となりました。  
昔から全国の真宗門徒が多く参詣しています。



- 49 1958 (昭和 33.11.27) 西野大手先町 元山科村役場
- 明治 5 年 東野校の中に「区務室」設置
- 明治 13 年 山階校の北東棟に、「戸長役場設置」
- 明治 22 年 山階校の北東棟に、「山科村役場設置」
- 明治 37 年頃 この場所に山階校より新築移転
- 大正 15 年 10 月 16 日 「山科町役場」
- 昭和 6 年 4 月 1 日 20 日 「京都市東山区山科吏員派出所」
- 昭和 26 年 6 月 「東山区山科支所」が西野大手先町（竹鼻街道筋東側）に移転したので、この建物は 1 年間そのままの状態
- 昭和 27 年 6 月 京都市社会教育会館山科分館設置
- 昭和 34 年 7 月 正門の左側の建物に「京都府立労働セツツルメント設置
- 昭和 56 年 11 月 京都市老人いこいの家設置（西野の西宗寺から移転）
- 平成 12 年 7 月 31 日 京都市社会教育会館山科分館と京都府立労働セツツルメント撤去。建物は解体。



50 1958(昭和33.11.27)御陵大津畠町(三条通と安祥寺道の角)滋賀銀行山科支店

昭和8年10月 京津国道(現、三条通)開通、滋賀銀行山科支店が進出。

昭和37年9月30日 山科電報電話局発足、ここに新築移転。

#### 滋賀銀行山科支店関係

- 1925 大正14 滋賀県の八幡銀行山科出張所を山科駅前に開設。
- 1933 昭和8.10.1 八幡銀行と百三十三銀行が合併して、滋賀銀行発足。
- 1962 昭和37 竹鼻竹ノ街道町に新築移転。
- 1981 昭和56.8.24 音羽野田町に新築移転。

#### 山科電報電話局・山科郵便局関係

- 1872 明治5.9.7 東京～京都間に電信線開通。元東海道に約50m間隔で電信柱設置。山科では郵便局で電報の受付業務。
- 1877 明治10 醍醐郵便局設置
- 1903 明治36.12 山科郵便局、四ノ宮に開設。
- 1929 昭和4.6 山科郵便局、安朱南屋敷町(山科駅前)に移転。
- 1934 昭和9.3 山科郵便局、竹鼻竹ノ街道町に移転。
- 1938 昭和13.6 山科郵便局、竹鼻竹ノ街道町に仮設局舎設置移転。  
(現、大丸山科店近く)
- 1949 昭和24.6.1 遅信省廃止。郵政省と電気通信省設置。山科郵便局・山科電報局と山科電話局が同じ場所で発足。
- 1952 昭和27.8.1 日本電信電話公社発足。
- 1954 昭和29.11 山科郵便局、安朱南屋敷町(公設市場近く)に移転。
- 1962 昭和37.9.30 御陵大津畠町(写真の地)に山科電報電話局移転。  
山科電報局と山科電話局が合併して山科電報電話局。  
(山科の電話が自動ダイヤル化しました)
- 1973 昭和48.2 山科郵便局、西野阿芸沢町(山科団地近く)に移転。



5 1 1958 (昭和 33) 山科警察署 竹鼻四丁野町

- 1876 明治 9. 伏水 (伏見) 警察署 第 6 分署 第 6 屯所, 東野村に設置。  
1880 明治 13 下京警察署山科分署, 山階校校門に入った所に設置。  
1886 明治 19 田中警察署 (下鴨警察署) 安朱分曾, 安朱に設置。  
1893 明治 26.12.11 宇治郡に山科警察署設置。(場所不明)  
1898 明治 31.5.16 宇治郡警察署 (山科警察署) を山科村から醍醐村へ移転。  
1932 昭和 7.8.2 醍醐警察署, 竹鼻に移転し, 山科警察署と改称。(写真)  
1983 昭和 58.12 山科警察署, 大宅神納町に新築移転。



5 2

1958 (昭和 33.3.7) 山科保健所 西野大手先町  
1958 (昭和 33.3) 安祥寺道の東御坊の南から東を写したものです。

この年の秋に, 稲刈りが終った途端, 住宅建設がはじまりました

#### 山科保健所関係

- 1945 昭和 20 廚子奥苗代町に, 山科保健所設置。  
1957 昭和 32 西野大手先町に移転。(写真)

1972 昭和 47 楠辻池尻町, 山科総合庁舎内に移転。

山科保健所の右向こうの建物は, 音羽野田町, 鐘紡山科工場社員住宅です。現在は, 音羽マンションに変わっています。



5 3

1958 (昭和 33.3.9)

西野大手先町

東御坊の橋上より

1958 (昭和 33.3)

東御坊南門の前から南西を写しています。

田んぼの向こうの道は安祥寺道です。

その向こうは蓮如上人御廟所の白壁です。

手前の木は桜並木道の木です。昭和 60 年頃、下水工事のため桜並木はなくなりました。

桜の木の向こうに見える建物は、東山区山科吏員派出所です。



5 4 1958 (昭和 33.8.22) 地蔵盆 竹鼻サイカシ町 東御坊境内

1958 (昭和 33.) 町内の地蔵盆 東御坊の南側で

現在の西野東部町内会は 8 組で 100 軒あまりありますが、当時は 2 組で 20 軒程度の町内でした。地蔵盆のときは、1 組の地蔵盆に参加していました。

昭和 16 年になって、2 組に地蔵尊がまつられるようになり、2 組だけで地蔵盆の行事が行われるようになりました。

昭和 35 年からこの町内全域にわたって住宅開発が進み、1~2 年の間には 100 軒を越えるようになりました。

昭和 55 年頃からは核家族化の影響で、町内の子供の人数が極端に少なくなり、町内の老人世帯が多くなってきました。



5 5 1959頃（昭和34頃） 竹鼻西ノ口町（安祥寺道の東側） 吉村紡績工場  
左端の工場が吉村紡績工場です。大きなエントツも吉村紡績工場です。  
この安祥寺道は、安祥寺へ参詣する人々のために造られた道のようです。  
大正10年8月 東海道新線が開通し、新山科駅は貨物駅でもあった関係で、この輸送  
道路として重要なはたらきをしていました。  
鐘紡山科工場のほか、吉村紡績工場はじめ数々の紡績工場ができています。  
吉村紡績工場は、その後「ヨシボー」と社名変更後、しばらくして解散。  
平成13年その跡地に「マツヤスーパー山科三条」と「山科ニックホビーショップ」が開店。



5 6 1964 昭和39.7 西野今屋敷町 町内同時の衛生掃除 置の床を上げて掃除  
毎年7月に山科全地域で一斉に衛生掃除が行なわれていました。